

第4回校則等検討委員会 議事録

1. 日 時：令和6年（2024年）3月5日（火）16：10～17：30

2. 場 所：多目的室

3. 出席者

学校運営協議会代表（運協）2名 PTA代表2名 校長 教頭 教師代表2名（教師）
生徒代表2名（生徒）

4. 学校の現状報告（第2回検討委員会以降）及び提案

教師：配付資料「カジュアルウィークアンケート」（3種）参照

・「カジュアルウィーク」の取組みについては、教師側からも概ね高評価である

生徒：配付資料「カジュアルウィークアンケート」（3種）参照

・「カジュアルウィーク」の取組みについては、ほとんどの人たちが「やって良かった」と感じている

・しかし、まだ、場をわきまえない服装で登校している生徒も一部いる

・今後も将来的には「自由服登校」を目指しながら、もう少し期間を定めたカジュアルウィークを実施し、議論を深めていきたい

・自由服登校の導入について、変えるタイミングとしては「生徒総会で」と考えている

5. 提案についての協議

運協：アンケートを見ると、一日も私服を着なかった生徒が90名以上いる。それでも「カジュアルウィークが良かった」と感じている生徒が多いのはなぜか？

教師：様子を見ながらの生徒も多いのではないかな。

生徒：友達が喜んでいる姿を見てそう思った子もいる。

PTA：友達と話を合わせて、制服や私服を選んだいることもあった。そういう話もすることも楽しかったようだ。1回目より2回目の方が私服の率は高かった。自分の周りの子、グループに合わせている部分もあるなあ、と思いました。自分が生徒なら様子を見ながら私服を増やしていったと思う。「カジュアルウィークが良くなかった」と言ってしまえば、選択肢は制服のみになってしまう。やはりどちらでも着られるという選択肢は残しておきたいと考えたのかも。

PTA：生徒会からのお話しでは、カジュアルウィークのルールを守れていない生徒もいるということだが、それは先生方から見てもそうなのか、子供自身はどう考えているのかも知りたい。

生徒：今回のルールでは、体操服（ハーフパンツ）の長さを目安としていたが、それより短い服を着てくる生徒もいた。

教師：1回目で一番気になったのは、生徒会が言うとおりの「露出度が高いな」というところでした。普段、少し大人しめの生徒が、アニメの影響か、フリフリの服を着てくることがあって驚いた。その様子を見て、前の生徒会の生徒たちがハーフパンツの長さを一つの基準とした。

教師：ルールという言葉は撤廃したい。ルールを決めると取り締まるというイメージが残る。そうではなくて、「どんな服装が良いのか」を考え続けることがこれからの風紀委員の役割になると思う。その中で、「ハーフパンツの長さを目安として、学校に来るのにふさわしい服装を考えましょう」と呼びかけることが大切だと思う。その代わり、「制服の時はビシッと揃えましょう」という勢いでやっていくのが良いと思う。

運協：カジュアルウィークのルールの中で、なぜ制服と私服のハイブリッドがいけないのか？私服化している高校では、そのパターンが一番多いのだが。

教師：前の生徒会の人たちが考えたときに、カジュアルウィークは制服か私服化の選択で、「制服を着るときはそれを大事に着ましょう」という意識で、そのルールを決めたと記憶している。それも自由服化していく中で、変わってくるのかも知れない。

教師：境界線が明確でなくなる。制服か私服かでやっているときにハイブリッドを認めてしまうと、制服の下にパーカーを着るような服装が、「制服の時もこれでいいんや」と思ってしまうのは良くない。自由と言うことになれば、それも含めて「ふさわしいのかな」を考えていくことになるのかな。特に入学したての1年生は、制服を着たこともないのに最初から着崩しを見てしまうのも良くない。自由服化になれば、「自己指導能力」ではないけれど、そのあたりもふさわしいかどうかを考えていければ良いなと思います。

教師：着こなしセミナーはどうだった？

生徒：「どんな場面でどういう服装をするべきか」ということを考える、良い機会になった。

PTA：ルール違反という話があったが、その生徒には誰か指導をしたのかな？

教師：少し目立つ生徒には、注意と言うより声かけをした場面はありました。

PTA：生徒同士が話し合う場面はあったのかな？

生徒：各クラス、班活動の中で振り返りを行った。

PTA：そういう考える時間が持てるのが良いことだと思う。いまだから間違えることが出来る。

また、私服だと温度調整がしやすい。持病があって体温調整が難しい生徒もいる。そんな子にとってはこの活動はありがたい。

運協：今回、生徒会の参加メンバーは変わったが、基本的には引き継ぎを受けていると考えて良いですね？これまでは「制服と私服の併用の方向で…」という考えだったと思うが、それは基本方針としてあるんですね。だからカジュアルウィークを肯定的に考えて、これからも続けていきましょうということですね。それでは、制服についてはどのような考えを

持って行くのか？私服化については、進めていながら運用の仕方を考えていけば良い。

一方、制服は学校の考え方が表れるものでもある。

教師：今着ている制服について、生徒の皆さんはどのような考えを持っているか？

生徒：改善していきたいと考えている。

- ・冬服が重い　・ジャンパースカートは着脱がしにくい　・機能的ではない
- ・夏服の吊り紐はいらない・・・・・・・・
- ・学ランは着てこない生徒が増えた（ルール変更があったため）
- ・重たい　・動きにくい　・伸縮性に欠ける

PTA：家で洗えるような表示になっているが、乾きにくくしわも伸ばしにくいので、結局クリーニングに出すことになる

運協：時代が変わっている中、変わっていかなければならない。リニューアルの方向で考えた方が良い。新しい制服に替わったとき、古い制服を着ている生徒たちが「新しい制服を着たい」といえば認められるのか。

教師：制服変更については、まだ何も議論が出来ていない。例えば、制服は変更になったが、兄や姉から譲り受けた古い制服を着ても良いのか、など。事例を見ると、3年の猶予を持たせている学校もある。

教師：制服はリニューアルの方向で考えていって良いか？

→全員賛同

6. 協議内容の確認

- ・「自由服化を目指しながら、今後も一定期間のカジュアルウィークを継続することで考えを深めていく」という生徒会からの提案を了とする
- ・制服については、今後、リニューアルにむけて検討していく

7. 閉会